

**4月6日(日)からの全日曜日のストに上乗せし、**

**4月13日(日)基点に追加行動を通告**

**次回団交は、4月8日(火)13時半**

4月3日、全国港湾と港運同盟は、第5回中央港湾団交を開催した。この団交での日港協の回答は、これまでの延長線上のもので、産別最低賃金制度など制度賃金の引き上げには「専門委員会で協議する」とし、定年延長65歳についても、「各社で努力する」とするなど、春闘要求に誠実に応え、春闘を解決しようとする姿勢は見られなかった。組合側は、こうした姿勢に厳しく抗議するとともに、すでに通告している4月6日(日)からのすべての日曜日のストライキに上乗せし、具体的な戦術は、別途通知するが、4月13日(日)を基点に上乗せストを行うと通告した。なお、次回第6回中央港湾団交は、日港協の申し入れにより4月8日(火)13時半より開催することとなった。

**14春闘は、スクラムトライだ！  
いまこそ、産別統ぐみで要求貫徹を！**

産別に結集した私たちは、3月23日と29日の24時間ストを果敢に打ち抜いた。今後は、4月6日(日)以降のすべての日曜日をストライキでたたかうとともに、4月13日(日)を基点に上乗せストを実施することを決意した。職場・地域が、一糸乱れぬ港湾労働者の団結で要求を実現しよう！ **スクラムトライだ！**

**全国港湾労働組合連合会(全国港湾)**

住所：東京都大田区蒲田5-10-2 日港福会館1階 電話：03-3733-2561

# **日港協は、港湾労働者の要求に耳を傾けよ！**

## **労働者の懐を温めることが、日本経済再生の近道**

消費税増税を前にして、3月29日、30日、31日は日本列島全体が大揺れに揺れた。スーパーでまとめ買いをする人、定期券売り場で大行列をする人、まさに多くの国民が消費税増税の前の生活防衛の行動に出た。港湾労働者は、規制緩和のもとでの料金競争の影響で、賃金は下がり(厚生労働省調査)、労働時間短縮は進まず、これに追い打ちをかける増税とインフレである。14春闘の要求に込めた、港湾労働者の切実な思いを、制度賃金、定年制度、週休二日等の産別協定改定によって具体化しなければ、生活の悪化は必至である。

**港運事業者は、適正料金を確保し、労働者に還元せよ！**

## **大幅賃上げ実現まで一步も引かぬ！**

産別協定による産別の最低条件の引き上げはもちろんであるが、14春闘は大幅賃上げ実現なくして終われない。すでに、大手組合はベアを獲得して春闘終結、中小組合も全力で追い上げている。全国港湾と港運同盟の合同闘争委員会は、「大手組合の妥結水準を乗り越え、一步も引かいない」と意思統一している。14春闘は、産別制度要求と賃金引上げの要求を一体でたたかいぬかねば前進しない。大幅賃上げ実現に一步も引かぬ決意でたたかおう！

**全国港湾14春闘情報 <http://www.zenkoku-kowan.jp/>**